

平成27年度第1回練馬区立美術館運営協議会 次第

平成27年11月4日(水)午後2時

於：サンライフ練馬3階研修室

(審議事項)

1 平成26年度事業報告

- (1) 平成26年度ぐるっとパスの利用状況
- (2) 平成26年度ぐるっとパスの収支

2 平成27年度 事業計画

- (1) 展覧会事業
- (2) 教育普及事業
- (3) 平成27年度 広報活動と反響(中間報告)
- (4) 美術作品の収集事業

3 美術の森緑地について

- (1) 美術の森緑地リニューアル後の動向
- (2) 美術の森緑地 広報活動と反響(中間報告)

4 その他

(報告事項)

なし

平成 2 7 年度

第 1 回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成27年11月4日)

平成 27 年度 第 1 回練馬区立美術館運営協議会 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 平成26年度 事業報告	5
(1) 平成26年度ぐるっとパスの利用状況	5
(2) 平成26年度ぐるっとパスの収支	
2 平成27年度 事業計画	6
(1) 展覧会事業	6
平成27年度 展覧会事業日程	6
小林清親展	7
コレクション展	8
N + N展2015	9
舟越保武展	10
アルフレッド・シスレー展	13
浜田浄展	14
恵俊彦 浮世絵コレクション展	15
(2) 教育普及事業	16
平成27年度 教育普及事業計画	16
(3) 平成27年度 広報活動と反響（中間報告）	21
(4) 美術作品の収集事業	25
平成26年度 美術作品の収蔵状況	25
平成26年度 美術作品の取得状況	26
3 美術の森緑地について	33
(1) 美術の森緑地リニューアル後の動向	33
(2) 美術の森緑地 広報活動と反響（中間報告）	34

練馬区立美術館運営協議会委員名簿

平成 27 年 11 月 4 日現在

	氏 名	役 職
学識経験者	粟津 則雄	文芸評論家
	高橋 幸次	日大芸術学部美術学科教授
	青木 茂	明治美術学会 会長
	伊豆井 秀一	埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員
	大橋 皓也	洋画家
	佐藤 康宏	東京大学教授
	島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
練馬区議会議員	高松 さとし	区議会議員
	やない 克子	区議会議員
	岩瀬 たけし	区議会議員
	土屋としひろ	区議会議員
公募区民	中澤 弘生	公募区民
	暮田 麻里子	公募区民
	平柳 慶子	公募区民
美術関係者	伊藤 定夫	練馬・文化の会 代表
	島田 紘一呂	練馬区美術家協会 会長
学校教育関係者	江川 誠志	三原台中学校 校長
	森田 敏裕	大泉第一小学校

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(部会)

第 8 条 協議会は、第 2 条第 1 項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。
- 3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第 9 条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年 4 月 1 日から施行する。

1 平成26年度 事業報告

(1) 平成26年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」は、都内の美術館・博物館などの入場券または割引券を1冊に綴ったチケットブックで、平成26年度は78の施設が対象施設として参加した。当館も、観覧者と収入の増を見込んで、平成23年度から対象施設として参加している。

価格は1冊2,000円（使用開始日から2か月間有効）で、各対象施設や旅行代理店などで販売を行うほか、コンビニエンスストア等でも引換券を販売している。

平成26年度は、パス139冊(上半期110冊、下半期29冊)を売り上げた。

また、パスの所持者1,789人が当館を利用した。

平成25年度は、パス売り上げ120冊、パス所持者1,973人が来館

(2) 平成26年度ぐるっとパスの収支

(A) 収入・・・425,377円（平成25年度；371,898円）

販売歩合 売上の5% @2,000×139冊×5% = 13,900円

配分金 パス利用の入館者数（1,789人）に応じた配分金 257,517円

負担金返還 150,000円

報奨金 4,500円

手数料 540円（上半期売上金を事務局に納入する際の振込手数料）

(B) 支出・・・150,000円

参加負担金 150,000円

収入(A) - 支出(B)

425,377円 - 150,000円 = 275,377円

前年比54,004円の増

2 平成27年度 事業計画

(1) 展覧会事業

平成27年度 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月5日 5月17日 <37日間>	【有料】 開館30周年記念 『没後100年 小林清親展 -文明開化の光と影をみつめて-』				加藤
5月22日 5月31日 <9日間>	【無料】 第61回練馬区美術家協会展		5月22日	【無料】 『練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術3 1970～80年代 牧野邦夫(インパール)を中心に』	真子
6月2日 6月7日 <6日間>	(一般貸出)		6月30日		
6月11日 6月30日 <17日間>	【無料】 『N+N展2015 The彫刻 -Nichigei彫刻の現在』	真子	<34日間>		
7月12日 9月6日 <49日間>	【有料】 開館30周年記念 『舟越保武彫刻展 -まなざしの向こうに-』				喜多
9月20日 11月15日 <49日間>	【有料】 開館30周年記念 『アルフレッド・シスレー展 -印象派、空と水辺の風景画家-』				小野
11月21日 12月27日 <32日間>	(一般貸出)		11月21日	【有料】 『浜田浄の軌跡 重ねる、削る 絵画』展	真子
1月9日 1月13日 <4日間>	中学校生徒作品展				
1月16日 1月21日 <5日間>	小学校連合同工展				
1月23日 1月24日 <2日間>	小中学校連合同書きぞめ展				
1月30日 2月7日 <8日間>	【無料】 第47回練馬区民美術展				
2月19日 4月10日 <45日間>	【有料】 『国芳イズム-歌川国芳とその系脈 武蔵野の洋画家 恵俊彦コレクション』				加藤

没後 100 年 小林清親展 - 文明開化の光と影を見つめて - 開催要項

- 1 開催趣旨

江戸、本所に生まれた小林清親（弘化4（1847）～大正4（1915））は幕臣として伏見の戦いにも参戦、江戸城開城を目の当たりにするなど、まさに、江戸の終焉を肌身を感じる青年時代を送っている。

明治9（1876）年、清親は江戸からの変貌を遂げた東京の風景を、銅版画や水彩画を意識し、光と影の表現を駆使した新しい感覚の木版画として世に送り出す。「光線画」の誕生である。清親はこの新東京風景を次々と発表しセンセーショナルなデビューを果たすこととなる。こうした風景画に加えて花鳥画や静物画などを発表。その表現、技術共に頂点に達するが、明治14年を最後に、好評だった東京風景画をやめ、戯画、社会風刺画を描きジャーナリズムとの関係も深めていくこととなる。明治27年、日清戦争が始まると戦争画を手がけるなど、社会、風俗に応じた、浮世絵師としての仕事を全うするが、木版画の斜陽には抗えず、出版からは離れ、50歳を過ぎた頃から肉筆画にその活動の場を求めていくこととなった。

明治後期からは一線を退き、時代に取り残された浮世絵師の残像と見なされがちな清親であるが、近年、肉筆画の大作が発見されるなど評価も変わりつつある。

没後100年の記念展となる本展では、当館寄託作品33点を含む版画・肉筆画・スケッチなど301点により”最後の浮世絵師”清親を総合的に回顧した。
- 2 会 期 平成27年4月5日（日）～5月17日（日）
巡回先 静岡市美術館 2月7日（土）～3月22日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館 日本経済新聞社
- 4 助 成 芸術文化振興基金
- 5 内 容 版画、スケッチ、肉筆画など 301点
- 6 図 録 「小林清親 文明開化の光と影を見つめて」（2,592円（株）青幻舎）を図録兼書籍として出版。1,743冊販売、購入率12%
- 7 観 覧 料 500円
- 8 イベント 記念講演会（北海道教育大学教授：岡本祐美氏、当館学芸員）
浮世絵版画の摺りの実演（渡邊木版美術画舗）
学芸員によるギャラリートーク（2回）
銀河万丈氏による読み語り（藤沢周平「旅の誘い」他）
記念コンサート（ピアノ：小池ちとせ、チェロ：三宅進）
- 9 観 覧 者 数 14,785人（400人/日） 当初見込8,000人（216人/日）
- 10 担 当 学芸員 加藤 陽介

練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術3

「1970～80年代 牧野邦夫《インパール》を中心に」 開催要項

- 1 開催趣旨

練馬区立美術館の開館30周年に向けたコレクション展の、第3回目を開催した。

当館の所蔵品約6,300点（寄託作品含む）は、近現代の日本の作家を中心に収集されてきた。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、それぞれがどのような時代背景の中で生まれ、どのような役割を担ってきたのかという視点を持ち展開していく。

今回は1970～80年代に焦点を当て、牧野邦夫を中心に、荒川修作、小作青史、川俣正、近藤竜男、高松次郎、寺田真由美、中西夏之、山内秀臣らの作品を展示した。
- 2 会 期 平成27年5月22日（金）～6月30日（火）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 絵画、版画、立体作品など 37点
- 5 図 録 リーフレット（A3二ツ折）を作成、無料配布
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント

ギャラリートーク（2回開催）

鑑賞プログラム「トコトコ美術館」（6回開催）

講師：当館学芸員 対象：3～6歳＋保護者、各回5組
- 8 観覧者数 4,300人（126人／日） 当初見込8,160人（240人／日）
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

N + N展 2015 The 彫刻 - Nichigei 彫刻の現在 開催要項

- 1 開催趣旨

7回目を迎える、日本大学芸術学部（日藝）美術学科と練馬区立美術館との共同企画展。今回は美術の森緑地の共同制作もあり、彫刻コースの教職員、院生、卒業生の作品を中心に展示した。日藝彫刻コースは、柳原義達や土谷武ら歴代の教授陣による薫陶のもと、ブロンズの具象彫刻と鉄の抽象彫刻で知られてきた。現在、教職員や卒業生の個性的な作家たちが、さまざまなテーマと素材で、創作を展開している。

本展は作品の様態や発表方法などが多様化する今日において、日藝の彫刻の現在を提示しながら、改めて彫刻とは何か、彫刻に何が可能かを問うものである。

なお、この展覧会は平成27年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催された。

出品作家：飯田竜太、今村克、内山翔二郎、大槻孝之、桐生ミナミ、
鞍掛純一、豊島鉄也、長谷川佐知子、平林洋、松本隆、
和田政幸

参考出品：柳原義達、土谷武
- 2 会 期 平成27年6月11日（木）～6月30日（火）
- 3 主 催 練馬区立美術館 日本大学芸術学部美術学科
- 4 内 容 彫刻作品 87点（美術の森緑地マケットやスケッチも展示）
- 5 図 録 展覧会終了後、日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク
講演会
中高生向けワークショップ
アーティストトーク
- 8 観 覧 者 数 1,405人（83人／日） 当初見込3,400人（200人／日）
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

舟越保武彫刻展 - まなざしの向こうに - 開催要項

- 1 開催趣旨

戦後の日本具象彫刻界を代表する作家のひとり、舟越保武（1912～1987）の回顧展を開催した。

舟越は、1912（大正元）年に岩手県に生まれ、盛岡中学時代にロダンに憧れて彫刻家を志した。石彫による清楚な女性像で知られる舟越がはじめて大理石彫刻に取り組んだのは練馬に在住していた1940（昭和15）年のことであり、舟越は練馬ゆかりの作家でもある。

本展では、練馬で制作された初期の石彫など国内の代表的な作品のほか、初公開を含むドローイング作品をあわせて展示し、宗教的主題の作品で独自のスタイルを確立した舟越の、生涯にわたる仕事を振り返った。

また、舟越が東京美術学校在学時から1945年に盛岡に疎開するまで居住した練馬のアトリエ長屋、現在は、練馬アトリエ村などともいわれる一画で制作の場を構えた画家たちの姿を紹介した。
- 2 会 期

平成27年7月12日（日）～9月6日（日）

巡回先 岩手県立美術館 平成26年10月25日（土）～12月7日（日）
郡山市立美術館 平成27年1月24日（土）～3月22日（日）
8月21日（金）、皇后陛下の行啓を賜る。
- 3 主 催 練馬区立美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協 賛 ライオン株式会社、清水建設株式会社、大日本印刷株式会社、
損害保険ジャパン日本興亜株式会社、日本テレビ放送網株式会社
協 力 ギャラリーせいほう
- 4 内 容 彫刻作品約60点、素描作品約60点
- 5 図 録 『舟越保武 まなざしの向こうに』（2,500円（株）求龍堂）を図録兼書籍として出版。1,502冊販売、購入率6.5%（8月末で図録完売）
- 6 観 覧 料 800円
- 7 イベント 記念講演会（日本大学芸術学部教授：高橋幸次氏、多摩美術大学造形表現学部：萩原朔美氏）
ワークショップ 石彫「身体の一部を彫ってみよう」（彫刻家：石井琢郎氏）
学芸員によるギャラリートーク（2回）
銀河万丈氏による読み語り（遠藤周作「最後の殉教者」他）
記念コンサート（ピアノ：小池ちとせ、メゾソプラノ：河野めぐみ）
映画上映会「日本二十六聖人 われ世に勝てり」
- 8 観覧者数 22,948人（468人/日） 当初見込 10,800人（220人/日）
- 9 担 当 学芸員 喜多 孝臣

練馬区立美術館「開館30周年記念 舟越保武彫刻展 - まなざしの向こうに - 」御覧
皇后陛下の行啓について

記

1 行啓御日程

平成27年 8月21日（金）	練馬区立美術館	御着	午後 6時
	〃	御発	午後 7時

2 御出迎え

練馬区長
練馬区議会議長
読売新聞東京本社取締役事業局長
公益財団法人練馬区文化振興協会理事長

先導役 練馬区立美術館長

3 御観覧

ご案内	舟越保武氏御長女	（末盛 千枝子氏）
随 行	練馬区立美術館長	
	練馬区立美術館学芸員	

4 ご歓談

皇后陛下
舟越保武氏御長女
読売新聞東京本社取締役事業局長
公益財団法人練馬区文化振興協会理事長
練馬区立美術館長
練馬区立美術館学芸員

以上

開館30周年記念 舟越保武彫刻展 - まなざしの向こうに - (平成27年7月12日～9月6日)
皇后陛下行啓に関する反響

特 集 ねりま区報 平成27年(2015年)9月1日 ②

8月21日に皇后陛下は、開館30周年記念「舟越保武彫刻展—まなざしの向こうに」を開催中の練馬区立美術館を訪れました。

皇后陛下は、故舟越保武氏の長女で、過去に皇后陛下の著作を編集した末盛千枝子さんの説明をお聞きになりながら、練馬区ゆかりの彫刻家である舟越保武の作品を鑑賞されました。

舟越保武が練馬で制作した初期の石彫のほか、未公開を含む多数のデッサンなどを展示しています。▼観覧料：一般800円・高校・大学生と65～74歳の方600円、中学生以下と75歳以上の方無料

場所・問合せ 練馬区立美術館 ☎3577・1821



皇后陛下が練馬区立美術館で開館30周年記念「舟越保武彫刻展」をご鑑賞

9月6日まで開催

ダミアン神父像をご鑑賞の様子

ねりま区報
平成27年9月1日号

他掲載誌

< テレビ >	
8月22日 NHKNews	
8月21日 テレビ朝日 ANN NEWS	
8月21日 Jcom/スカパーチャンネル 日テレ NEWS24	
TBS 「皇室アルバム」(第2859集 夏の思い出 ～天皇皇后両陛下～)	
9月19日放送 5:30 - 5:45	
フジテレビ【皇室ご一家】	
9月20日放送 5:45 - 6:00	
< 新聞 >	
日本経済新聞 8月22日朝刊	読売新聞 8月22日朝刊
産経新聞 8月22日朝刊	ねりま区報 9月1日号(上参照)
< 美術雑誌 >	
美連協ニュース 11月号	
< WEB >	
クリスチャントゥデイ	47NEWSオンラインニュース (8月21日速報)
インターネットミュージアム	福島民報オンラインニュース (8月21日速報)
「皇室がご覧になった展覧会 2015年後半」 ページ	日本海新聞オンラインニュース (8月21日速報)
河北オンラインニュース (8月21日速報)	佐賀新聞オンラインニュース (8月21日速報)
時事通信 (8月21日速報)	千葉日報ウェブ (8月21日速報)
毎日新聞オンラインニュース (8月21日速報)	福井新聞オンラインニュース (8月21日速報)
読売詳報オンラインニュース (8月21日速報)	Web東奥 (8月21日速報)
西日本新聞オンラインニュース (8月21日速報)	信濃毎日新聞ウェブ (8月21日速報)
山陰中央新報オンラインニュース (8月21日速報)	大分合同新聞オンラインニュース (8月21日速報)
大阪日日新聞オンラインニュース (8月21日速報)	神戸新聞ネクスト (8月21日速報)
長崎新聞オンラインニュース (8月21日速報)	静岡新聞オンラインニュース (8月21日速報)
産経ニュース (8月21日速報)	他

アルフレッド・シスレー展 - 印象派、空と水辺の風景画家 - 開催要項

- 1 開催趣旨

日本の美術館やコレクターが、世界でも選りすぐりの印象派の絵画を所有していることは、広く知られている。その質、量ともに大変な充実ぶりで、我が国における膨大な印象派コレクションの全体像の周知は、以前より望まれていることであった。そのような背景を踏まえ、国内に所蔵されている貴重なコレクションから、印象派を代表する風景画家アルフレッド・シスレーの作品20点を中心に展覧会を開催する。

シスレー（Alfred Sisley / 1839～1899）は、フランス・パリのイギリス人実業家の裕福な家庭に生まれた。4年間のイギリス滞在後、画家となる決意をしたシスレーは、モネやルノワールらがいたシャルル・グレルの画塾へと入り1863年まで学ぶ。その後は、フォンテーヌブローの森などに出向き、風景画家としての本格的な制作活動をスタートさせる。1875年3月、シスレーはパリを離れ、ルーヴシエンヌやマルリー＝ル＝ロワやセーヴル、モレ＝シュル＝ロワン、サン＝マメスなど、パリ郊外を転々としながら各地の風景を描き続け、1889年よりモレに滞在し1899年に没するまでこの地に留まった。

本展では、シスレーが生涯を通して描き続けたセーヌ川とその支流を巡る情景を中心に辿る。セーヌ川の流れは19世紀の半ば河川工学の技術が発達したことにより、穏やかな流れに変化していた。技術の近代化が支えた川の情景という視点やモレを尋ねた日本人画家など多角的にシスレーの作品世界を検証したい。
- 2 会 期 平成27年9月20日（日）～11月15日（日）
- 3 主催 練馬区立美術館 毎日新聞社
後援 在日フランス大使館 アンスティチュ・フランセ日本
協力 (株)大伸社
国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
- 4 内 容 油彩画30点、版画8点、冊子資料3点、ポストカード30点など
- 5 図 録 作成（2,200円 (株)大伸社）
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 記念講演会（実践女子大学名誉教授、石橋財団ブリヂストン美術館前館長：島田紀夫氏、九州大学名誉教授：萩島哲氏、セーヌ川研究家：佐川美加氏）
河川を学ぶワークショップ事前学習およびフィールドワーク：当館学芸員
銀河万丈氏による読み語り（永井荷風「ふらんす物語」他）
シャンソンコンサート：広瀬敏郎
ギャラリートーク：当館学芸員 他
- 8 観 覧 者 数 22,050人（450人／日） 10月20日現在18,785人（723人／日）
- 9 担 当 学芸員 小野 寛子

浜田浄の軌跡 - 重ねる、削る 絵画 - 開催要項

- 1 開催趣旨

浜田浄はアクリル絵の具、鉛筆などを用い、抽象的な絵画を発表し続ける作家である。1937年高知県生まれ。1956年上京し翌年多摩美術大学絵画科に入学。1959年には第9回モダンアート協会展に初入選。以後様々な公募展や画廊での個展などで発表を続けている。また浜田は1965年から96年まで、練馬区や豊島区の小学校専科教員を務めた、地域ゆかりの作家でもある。

油彩画から始まった浜田の活動は、72年にアクリル絵の具、75年初めて支持体に合板を用いる試みを経て、1977年の現代版画コンクール佳作賞受賞により一躍版画家として注目を集めた。しかし80年代には版画制作を中止。その後、紙を一寸の隙なく鉛筆で塗り込める漆黒の作品を発表。さらに80年代後半からは、カッターナイフ、ヘラ、ペインティングナイフなど様々な道具を駆使し、絵具をのせた合板やカンヴァスヘッドローイングを施す仕事へ移行。絵画表現を追求するその姿勢は、現在もなお途切れることなく続いている。本展では初期から最新の仕事までを展示し、浜田の軌跡を紹介する。
- 2 会 期 平成27年11月21日（土）～平成28年2月7日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館
- 4 内 容 絵画、版画 47点
- 5 図 録 冊子を作成・販売（価格未定）
- 6 観 覧 料 300円
- 7 イベント アーティストトーク（作家とゲストの対談形式）
【A】11月28日（土） 萬木康博（美術評論家）
【B】12月13日（日） 三田晴夫（美術ジャーナリスト）、
笹木繁男（現代美術資料センター主宰）
【C】1月9日（土） 福住廉（美術評論家）
鑑賞プログラム「トコトコ美術館」
12月19日（土）、20日（日）、1月30日（土）
- 8 観覧者見込 15,000人（242人／日）
- 9 担 当 学芸員 真子 みほ

国芳イズム - 歌川国芳とその系脈 武蔵野の洋画家 恵俊彦コレクション 開催要項

- 1 開催要項

恵俊彦氏（1935生）は風土会に所属し、一貫して武蔵野の自然を描く、洋画家である。そうした一面と共に、歌川国芳、月岡芳年など幕末・明治期の浮世絵の革新性、奇抜さに早くから着目し、長年に亘りコレクションしてきた蒐集家・研究者として、国内はもちろん、海外でも高い評価を受けている。

氏のコレクションからは2011年に太田記念美術館ほかで開催された歌川国芳（NHKプロモーション主催）や『月岡芳年の世界』（東京書籍）など、展覧会や書籍で紹介されてはいるものの、その全貌は今まで明らかにされてはいない。

本展では、恵コレクションの最大の魅力である国芳と大変稀少なその一門の作品を筆頭に、河鍋暁斎、月岡芳年といった幕末明治を彩る代表的な作家に加えて、尾形月耕や山本昇雲そして近年注目される小林永濯らの初公開の作品を数多く含む約180点で、幕末・明治期の浮世絵、風俗画の粋を紹介するものである。

また、コレクターである恵氏は若くして示現会に初入選し、武蔵野美術学校洋画科卒業後、一陽会、光風会等で入選を重ねるが、その後、長らくフリーの立場で作品を発表。現在は風土展に毎年大作を発表している。四季折々に、木々や空や水がその彩りを変化させる武蔵野の風景を長年に亘って描き続けている。未だ武蔵野の面影を残す練馬ともなじみの深い恵氏の作品も併せて展観する展示である。
- 2 会 期 平成28年 2月19日（金）～ 4月10日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館 東京新聞
- 4 内 容 錦絵版画、肉筆画、油彩画など 約200点
- 5 図 録 図録兼書籍として作成
- 6 観 覧 料 800円（予定）
- 7 イベント 記念講演会
浮世絵版画摺りの実演
コンサート、読み語り、ギャラリートーク ほか
- 8 観覧者見込 11,250人（250人／日）
- 9 担 当 学芸員 加藤 陽介

(2) 平成27年度 教育普及事業計画

平成27年10月20日現在

館内事業

） 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	N+N展関連ワークショップ 「中高生のための彫刻入門 - 木片を組み合わせた立体制作 -」 講師:大槻孝之(日本大学芸術学部教授)	6月14日(日) 13:30~16:00	1	中学1年生~ 18歳	15名	6名
2	舟越展関連美術講座「粘土で作るあなたの顔」 講師:真子みほ(当館学芸員)	7月31日(金)、8月1日(土)、 2日(日)、7日(金) 13:30~17:00	4	小学生	各回 10名	延 36名
3	舟越展関連美術講座「身体の一部を彫ってみよう」 講師:石井琢郎(彫刻家)	8月8日(土)~9日(日) 10:30~17:00	1 (2日間)	中学生以上	15名	15名
4	舟越展関連美術講座「ベタベタひんやり水粘土であそぼう」 講師:真子みほ(当館学芸員)	8月22日(土)、23日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	延 16組 36名
5	シスレー展関連 河川を学ぶワークショップ 「東京の川、荒川を知る 川から見る水の都市・東京の姿」 講師:小野寛子(当館学芸員)、里村真吾(国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所事務所長)	事前学習:9月26日(土)14:00~ フィールドワーク:10月8日(木) 13:00~17:00	1 (2日間)	中学生以上	30名	26名
6	シスレー展関連 河川を学ぶワークショップ 「練馬の川、石神井川を知る 歩いてめぐる練馬の歴史と景観」 講師:小野寛子(当館学芸員)、根岸博之(当館職員)	事前学習:10月10日(土)10:30~ フィールドワーク:10月18日(日) 14:00~17:00	1 (2日間)	中学生以上	30名	25名
7	恵俊彦コレクション展美術講座 版画 講師:山口茉莉(版画家)	未定	1 (2日間)	中学生以上	20名	

ギャラリートーク

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	小林清親展	4月18日(土)、5月9日(土) 15:00~16:00	2	自由参加		延 123名
2	コレクション展	5月23日(土)、6月6日(土) 14:00~14:30	2	自由参加		延 37名
3	N+N展	6月27日(土) 14:00~14:30、15:00~16:00	2	自由参加		延 63名
4	舟越保武展	8月1日(土)、15日(土) 15:00~16:00	2	自由参加		延 125名
5	シスレー展	10月15日(木)、11月4日(水) 14:30~15:00	2	自由参加		
6	浜田浄展	11月28日(土)、12月13日(日)、 1月9日(土) 15:00~16:00	3	自由参加		
7	恵俊彦コレクション展	未定	2	自由参加		

コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	小林清親展関連 コンサート 演奏者:小池 ちとせ(ピアノ)、三宅 進(チェロ)	4月19日(日) 15:00~	1	自由参加		150名
2	小林清親展関連 浮世絵の刷り実演 出演者:渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗)	4月25日(土) 11:00~、14:00~	2	自由参加		延 193名
3	小林清親展関連 銀河万丈読み語り (貫井図書館共同主宰)	4月26日(日) 15:00~	1	中学生 以上	70名	66名
4	舟越保武展映画上映会 「日本二十六聖人われ世に勝てり」(1931年)	8月30日(日) 10:30~、15:00~	2	中学生 以上	各回 70名	延 96名
5	舟越保武展記念コンサート 演奏者:小池 ちとせ(ピアノ)、河野 めぐみ(声楽)	8月22日(土) 15:00~	1	自由参加		285名
6	シスレー展関連 銀河万丈読み語り (貫井図書館共同主宰)	9月27日(日) 15:00~16:30	1	中学生 以上	70名	74名
7	シスレー展関連 シャンソンコンサート 出演者:広瀬敏郎	10月4日(日) 15:00~16:00	1	自由参加		124名
8	アルフレッド・シスレー バースデーコンサート 出演者:渚智佳(ピアノ)、田口美里(ヴァイオリン)	10月30日(金) 18:20~	1	中学生 以上	50名	
9	恵俊彦コレクション展関連 コンサート	未定	1 (3日間)	自由参加		
10	恵俊彦コレクション展関連 銀河万丈読み語り	未定	1	中学生 以上	70名	

鑑賞プログラム

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	コレクション展関連 トコトコ美術館 テーマ:影	5月30日(土)・31日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30 6月7日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30	6	3歳~6歳 + 保護者 小学1・2年生 + 保護者	各回 5組	延 30組 65名
2	シスレー展関連 トコトコ美術館 テーマ:川	10月30日(金)・31日(土) 10:30~12:00	2	3歳~6歳 + 保護者	各回 5組	
3	浜田浄展関連 トコトコ美術館 テーマ:えんぴつ	12月19日(土)・20日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30 1月30日(日) 10:30~12:00、14:00~15:30	6	3歳~6歳 + 保護者 小学1・2年生 + 保護者	各回 5組	

講演会など

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	小林清親展記念講演会「清親の生涯」 講師:岡本祐美(北海道教育大学教授)	4月12日(日) 15:00~	1	中学生 以上	70名	69名
2	小林清親展記念講演会「小林清親の学んだもの」 講師:加藤陽介(当館学芸員)	5月2日(土) 15:00~	1	中学生 以上	70名	71名
3	N+N展関連講演会「彫刻よ立って歩け:彫刻の歴史と現在」 講師:高橋幸次(日本大学芸術学部教授)	6月20日(土) 14:00~15:30	1	中学生 以上	50名	23名
4	舟越保武展記念講演会 「舟越保武の彫刻:造形性をめぐって」 講師:高橋幸次(日本大学芸術学部教授)	7月25日(土) 15:00~	1	中学生 以上	70名	67名
5	舟越保武展記念講演会「手で見るという事 私の舟越安武体験」 講師:萩原朔美(多摩美術大学造形学部教授)	8月8日(土) 15:00~	1	中学生 以上	70名	62名
6	シスレー展特別講演会「シスレー芸術の魅力 空と水辺」 講師:島田紀夫(実践女子大学名誉教授、ブリヂストン美術館前館長)	10月3日(土) 14:30~16:00	1	中学生 以上	70名	78名
7	シスレー展特別講演会「絵になる 川の眺めを探して」 講師:萩島 哲(九州大学名誉教授)	10月10日(土) 14:30~16:00	1	中学生 以上	70名	62名
8	シスレー展特別講演会「テクノロジーが支えた印象派の水面」 講師:佐川美加(セーヌ川研究者)	10月17日(土) 14:30~16:00	1	中学生 以上	70名	75名
9	シスレー展特別講演会「アルフレッド・シスレーと作品の行方」 講師:小泉順也(一橋大学准教授)	10月31日(土) 14:30~16:00	1	中学生 以上	70名	
10	シスレー展特別講演会 「印象派の風景画 日本近代洋画との関係」 講師:小野寛子(当館学芸員)	11月7日(土) 14:30~16:00	1	中学生 以上	70名	
11	恵俊彦コレクション展関連講演会 講師:未定	未定	2	中学生 以上	70名	

）美術講座（美術に関する知識を学ぶ）

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	美術講座 作って学ぶ美術のれきし:絵画篇 講師:真子みほ(当館学芸員)	5月24日(日)、6月21日(日)、 7月19日(日) 10:30~17:00	1 (3日間)	小学5年~ 中学生	15名	9名
2	美術講座 日本美術史「近代」 講師:喜多孝臣(当館学芸員)	12月12日(土) 15:00~16:30	1	中学生 以上	70名	
3	美術講座 デッサン 講師:未定	未定	1 (3日間)	中学生 以上	20名	

）美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	四季のみじたく シリーズ⑳夏のみじたく 革の巾着 講師:神田沙耶香(革小物デザイナー)	6月28日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学4年生 以上	各回 10名	延 17名
2	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び	8月15日(土)、16日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	4	5歳~ 小学3年生	各回 10名	延 28名
3	四季のみじたく シリーズ㉑秋のみじたく 講師:窪田健吾(オーダーシャツ職人)	9月27日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学4年生 以上	各回 10名	延 15名
4	四季のみじたく シリーズ㉒冬のみじたく 包装紙の模様 講師:青山佳世(テキスタイルデザイナー)	11月29日(日) 10:30~17:00	1		20名	
5	四季のみじたく シリーズ㉓春のみじたく 講師:千種(羊毛フェルト作家)	3月	1		20名	

）その他

	事業名	開催(予定)日	回数	対象	定員	参加者
1	貫井図書館×美術館 図書館資料を使って展覧会を考える 講師:貫井図書館職員、真子みほ(当館学芸員)	1月31日(日)	1	小学生以上	15名	

学校関連事業

）スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

	参加校	延人数
団体鑑賞 美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする	10	400名
施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する	5	136名
職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える	4	12名
出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする	2	327名

）送迎バスの提供 年度当初に区立小学校へFAXでお知らせし、先着順で実施する。

	対象	開催(予定)日	参加人数
1	大泉第六小学校・5年生	6月25日(木)	2台 78名
2	大泉第三小学校・6年生	7月15日(水)	3台 100名

）ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

平成27年度は6回開催する。

	展覧会名	開催(予定)日	参加人数
1	小林清親展	4月14日(火)	10名
2	コレクション展	5月26日(火)	15名
3	舟越保武展	7月28日(火)	14名
4	シスレー展	9月29日(火)	11名
5	浜田浄展	12月1日(火)	
6	恵俊彦コレクション展	2月23日(火)	

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

(3) 平成 27 年度 広報活動と反響（中間報告）

1 広報活動の取り組み

方針 多様な媒体を利用し、周知・集客に努める。

コレクションを使った常設展（小規模展）の広報も積極的に行う。

(1) 展覧会のチラシ・ポスターの制作・配付

(2) 「美術館ニュース」の発行（年 1 回）

(1)、(2)は全国美術館、関係者、区内施設等に発送。

展覧会のポスターは、町会掲示板にも掲出依頼。

(3) 美術館ホームページ

平成 23 年 7 月からブログ開始。

(4) マスコミへの情報発信

新聞・雑誌・地域コミュニティ紙・ウェブサイト等にプレスリリースを発信し、主に掲載料無料のものを利用している。

27 年度の小林清親展、舟越保武彫刻展、アルフレッド・シスレー展で美術関係の PR 会社にリリース配信を委託。

(5) 交通広告

年間を通して中村橋駅に案内看板を設置。

企画展覧会によってポスターの駅貼り広告等を実施。

平成 26 年度に引き続き、27 年度もみどりバスへのポスター掲出を実施。

(6) 新聞広告

アルフレッド・シスレー展で実施。

(7) その他

ぐるっとパス 平成 23 年度から実施。

ミュージーぽん 平成 22 年 12 月 2 日から実施。

2 平成 27 年度展覧会に対する反響

(1) 開館30周年記念 小林清親展 - 文明開化の光と影をみつめて -

(平成 27 年 4 月 5 日～5 月 17 日)

<テレビ>

NHK 新日曜美術館 2 月 22 日、3 月 1 日(再放送)

TOKYO MXTV 「美術館へ行こう」 4 月 23 日

<ラジオ>

TOKYO FM ブルーオーシャン 4 月 13 日

<p><新聞> 日本経済新聞 2月5日夕刊 15日朝刊 3月15日朝刊 3月31日夕刊 4月2日夕刊 4月19日朝刊 5月7日夕刊 東京新聞 4月18日朝刊 東京新聞ほとなび 読売新聞 4月23日朝刊 産経新聞 4月16日 朝日新聞 4月1日、15日夕刊 房日新聞 4月27日 函館新聞 4月25日 徳島新聞 5月9日</p>	
<p><美術雑誌> 一枚の繪 5月号 美術の窓 4、6月号 展覧会ガイド 芸術新潮 4月号</p>	<p><雑誌> 東京人 5月号 週刊文春 6月4日号</p>
<p><地域情報誌> メディあさお 5月号 茨城フリーペーパー月刊 ezpress 4月号 「池袋15'」 4月号 asacoco 4月号 定年時代 4月下旬号 ぱど 3月27日号 池袋情報誌びいーゆ 4月号 ネリクリ04 月刊武州路 4月号 月刊 Kacce 4月号</p>	
<p><WEB> 日本美術倶楽部 Media & Communication インターネットミュージアム Migle ぶらり美術館 ぴあポイントサイト 練馬経済新聞 ちらしミュージアム G-Call ミュージアムカフェ 個展なび 青い日記帳 ART 公募 はるるど クラブウィルビー 他</p>	

(2) 練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術3

牧野邦夫〔インパール〕を中心に (平成27年5月22日～6月30日)

<p><新聞> 定年時代 平成27年6月上旬号</p>	
<p><地域情報誌> 月刊 Kacce6月号</p>	
<p><WEB> インターネットミュージアム 今見られる全国のおすすめ展覧会 100 練馬経済新聞 他</p>	

(3) 「N+N 展 2015 The 彫刻—Nichigei 彫刻の現在」

(平成 27 年 6 月 11 日～6 月 30 日)

< 地域情報誌 > 西武ニュース 笑顔びより
< WEB > 練馬経済新聞

貼り広告の実施

西武池袋線 池袋駅・江古田駅・所沢駅各 2 枚 (B 1 サイズポスター)

(4) 開館30周年記念 舟越保武彫刻展 - まなざしの向こうに -

(平成 27 年 7 月 12 日～9 月 6 日)

< テレビ > BS 日テレ 「ぶらぶら美術・博物館」 8 月 21 日	
< 新聞 > 日本経済新聞 8 月 22 日 (行啓) 毎日新聞 8 月 17 日夕刊 朝日新聞 8 月 26 日夕刊 読売新聞 6 月 29 日朝刊、7 月 7 日朝刊、8 月 10 日夕刊、 8 月 5 日、14 日、19 日 (連載)、8 月 22 日 (行啓)、 産経新聞 8 月 30 日朝刊 公明新聞 8 月 19 日 いきいき新聞 6 月 30 日 都政新報 7 月 28 日 所沢市民新聞 7 月 17 日	
< 美術雑誌 > 月刊美術 7 月号 美術の窓 7 月号 地域創造レター 8 月号	< 雑誌 > ミセス 9 月号
< 地域情報誌 > ネリクリ 05 池袋情報誌びいーゆ 7 月号 定年時代 8 月上旬号	茨城フリーペーパー月刊 ezpress 7 月号 月刊 Kacce7.8 月号
< WEB > インターネットミュージアム 個展なび クリスチャントゥデイ ぴあポイントサイト ぶらり美術館 G-Call	ぐるっとパスナビ タイムアウト東京 ミュージアムカフェ 青い日記帳 はるると クラブウィルビー 他

(5) 開館30周年記念 アルフレッド・シスレー展 - 印象派、空と水辺の風景画家 -
 (平成 27 年 9 月 20 日 ~ 11 月 15 日)

(平成 27 年 10 月 20 日現在)

<p>< テレビ > NHK E テレ「日曜美術館 アートシーン」10 月 4 日 9:45 ~ テレビ東京 「出沒！アド街ック天国」 11 月 7 日 21:00 ~ (予定)</p>	
<p>< 新聞 > 毎日新聞 9 月 4 日朝刊、9 月 9 日朝刊、9 月 17 日朝刊、9 月 20 日朝刊、 9 月 29 日朝刊 美術館 9 月 8 日 ~ (毎週火曜) 朝日新聞 夕刊マリオン欄 9 月 16 日 ~ (毎週水曜) 読売新聞 夕刊 cityblife 9 月 29 日 ~ (毎週火曜)、 (福岡版)夕刊ナビぶらす 9 月 17 日 ~ (毎週木曜) いきいき新聞 8 月 31 日 the JAPAN TIMES 9 月 30 日 足立朝日新聞 10 月 5 日 社会新報 10 月 14 日 定年時代 9 月 24 日</p>	
<p>< 美術雑誌 > 日経おとなの OFF 編集部 10 月号 美術の窓 10 月号 月刊アートコレクターズ 10 月号 月刊展覧会ガイド 10-11 月号 月刊ギャラリー 9 月号</p>	<p>< 雑誌 > 毎日婦人 8 月号 日経おとなの OFF 10 月号</p>
<p>< 地域情報誌 > Confetti 9 月号 茨城フリーペーパー月刊 ezpress9 月号 英文月刊誌 Eye-Ai10 月号 ネリクリ 06 池袋情報誌びいーゆ 9 月号 婦人公論 10 月 27 日 懸賞なび 10 月号 メディカルクォール 10 月 25 日 毎日夫人 7 月 20 日 週刊新潮 9 月 24 日発売号 「池袋 15'」10 月号 Are You Happy? (幸福の科学) 12 月号 ユーラシアニュース 10 月号</p>	
<p>< WEB > C)キューブ展覧会 ぐるっとパスナビ チラシミュージアム Fashion Press Art Annual online 新美術新聞 集英社ハピプラアート G-CALL anan ニュース 個展なび 宝島スプリング miple 日本美術倶楽部 ぴあポイントサイト 練馬経済新聞 CINRA.NET クラブ・ウィルビー ミュージアムカフェ はるると 他 ぶらり美術館</p>	

(4) 美術作品の収集事業

平成26年度 美術作品の収蔵状況

(平成27年3月26日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28							317	28	573	601	
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3	0	191	191
23		8		13								1		123	0	145	145
24		32		10		33									0	75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2,084	1	2,756	2,757
合計	31	264	190	1,309	75	773	1	7	0	1	1	44	1	2,543	299	4,941	5,240

平成27年3月26日現在 寄託作品 1,462点

購入・寄贈・寄託 計6,702点

平成26年度 美術作品の取得状況（寄贈・寄託リスト）

(1)購入 なし

(2-1)寄贈作品

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	松岡映丘	月	1917年	紙本墨画	38.0×52.5
2	松岡映丘	さつきまつ浜村	1928年	絹本着色	101.5×189.0
3	松岡映丘	なでしこ	不詳	絹本淡彩	31.3×24.5
4	松岡静野	舞妓	大正期	絹本着色	52.2×41.1
5	森脇正人	ある日の鯉のぼり	1975年	紙本着色	190.0×210.0
6	森脇正人	またあした	1977年	紙本着色	177.5×221.0
7	森脇正人	ジムの男	1995年	紙本着色	204.0×149.0
8	森脇正人	丘に咲く	1995年	紙本着色	208.0×153.0
9	森脇正人	闇	1988年	紙本着色	124.0×96.0
10	森脇正人	夏の終わり	1999年	紙本着色	116.0×91.0
11	森脇正人	生	2000年	紙本着色	118.0×91.0
12	早川芳彦	[花をいける女]	不詳	油彩・キャンバス	97.0×130.5
13	早川芳彦	機械静物	不詳	油彩・キャンバス	64.8×80.5
14	早川芳彦	[標本と機械]	不詳	油彩・キャンバス	65.5×80.7
15	井上長三郎	[牛]	不詳	キャンバス、油彩	27.3×41.2
16	井上長三郎	[牛]	不詳	キャンバス、油彩	41.5×60.5
17	井上長三郎	顔	不詳	アミアントカルトン、油彩	18.0×14.0
18	井上長三郎	少女	不詳	アミアントカルトン、油彩	14.0×18.0
19	井上長三郎	ローマ風景	不詳	板 油彩	22.0×27.0
20	井上長三郎	イタリ風景	不詳	アミアントカルトン、油彩	14.0×18.0
21	西脇順三郎	[裸婦]	1970年代	紙、水彩	31×54.5
22	野見山暁治	ニューヨークの裏窓	1984	紙、ペン・水彩	38.0×26.0
23	野見山暁治	夜があける	不詳	紙、銅版	18.5×22.0
24	田淵安一	Augures	1971年	紙 リトグラフ	50.3×42.2
25	駒井哲郎	[窓外風景]	不詳	紙 エッチング	28.5×25.5
26	駒井哲郎	coquillage	不詳	紙 エッチング	38.1×53.2
27	駒井哲郎	poisson ou poison	不詳	紙 エッチング	37.6×52.7
28	駒井哲郎	[抽象]	不詳	紙 エッチング	38×44.2
29	駒井哲郎	Intérieur	不詳	紙 エッチング	31.7×45.0
30	駒井哲郎	笑う人	1961年	紙、エッチング	28.5×23.7
31	駒井哲郎	[手]	不詳	紙、エッチング	25.4×21.9
32	駒井哲郎	詩集「愛しあふ男女」 フロントピース「樹木 ルドンの素描による」	1956年	紙、エッチング	33.7×26.4
33	中林忠良	転位'89-地	1989年	紙 銅版	44.5×65
34	中林忠良	春	不詳	モノタイプ	24.5×20.5
35	中林忠良	霧ヶ峰の夕	2002年	モノタイプ	30.5×16.0
36	中林忠良	[転移シリーズ?]	不詳	銅版	27.0×21.5
37	柳原義達	[人物素描]	1955年	紙 木炭	33.0×25.5
38	三雲祥之助	[人物デッサン]	不詳	紙 ペン	35.5×50.2
39	深沢幸雄	四角な詩人	不詳	ガラス絵	18.0×12.8
40	深沢幸雄	赤い壇の幻想	不詳	ガラス絵	19.5×14.0
41	麻田浩	小さい黒い風景	1977年	紙 メゾチント	33.0×25.0
42	麻田浩	[水滴]	不詳	紙 メゾチント	29.0×19.0
43	麻田浩	夜 (La Nuit)	不詳	紙、エッチング	42.2×32.7
44	麻田浩	[水のはなし(3)]	1980年頃	エッチング	27.9×29.0
45	柄沢齊	[花瓶]	1980?	木口木版	12.5×16.5
46	木原康行	Turbulent	1972年	紙、銅版	35.4×33.0
47	見目陽一	双体道祖神	1996年	木口木版	21.5×27.2
48	久保卓治	Old Chicago Public Library	不詳	紙、銅版	32.5×23.5
49	久保卓治	[ガーゴイル]	不詳	エッチング	39.0×32.0

50	久保卓治	Notre-Dame, the spire	1997年	紙 エングレーヴィング	48×40.3
51	絹谷幸二	[接吻]	不詳	紙 リトグラフ	65.8×70.5
52	青木一平	[抽象]	1979年	バステル	45.0×37.5
53	畑中優	意志	不詳	板/紙 水彩	15.7×22.6
54	畑中優	予感	不詳	板 アクリル	10.0×10.0
55	麻田浩	蝶の地(夜)	不詳	キャンバス、油彩	72.0×73.0
56	麻田浩	[神殿]	不詳	紙 エッチング	70.8×53.5
57	麻田浩	[神殿]	不詳	紙 エッチング	65.2×48.5
58	加藤清美	向こう側から No.3 (鳥)	1996年	エッチング、ドライポイント	66.5×57.0
59	加藤清美	[2人]	不詳	紙、銅版	10.5×14.2
60	加藤清美	[人と猫頭人]	不詳	エッチング	23×16.5
61	加藤清美	[窓]	不詳	紙 エッチング	65.5×50.2
62	加藤清美	Romans	2002年	エッチング/アクアチント /ドライポイント	66.0×50.0
63	加藤清美	[胸像]	不詳	紙 エッチング	57.5×50.0
64	加藤清美	[年賀状2004]	2004年	エッチング	16.7×11.0
65	加藤清美	[年賀状2005]	2005年	エッチング	16.7×11.7
66	加藤清美	[年賀状1984]	1984年	エッチング	15.8×11
67	加藤清美	[年賀状1983]	1983年	エッチング	16.5×11.2
68	加藤清美	Annunciation	1996年	エッチング/アクアチント /ドライポイント	57×71.5
69	加藤清美	[年賀状1985]	1985年	紙 エッチング	16.7×11.3
70	加藤清美	[年賀状1986]	1986年	紙 エッチング	15.9×10.3
71	加藤清美	[年賀状1988]	1988年	紙 エッチング	17×11.3
72	加藤清美	[年賀状1989]	1989年	紙 エッチング	17×11
73	加藤清美	[年賀状1990]	1990年	紙 エッチング	16.5×11.5
74	加藤清美	[年賀状1991]	1991年	紙 エッチング	16.5×10.6
75	加藤清美	[年賀状1992]	1992年	紙 エッチング	17×11.5
76	加藤清美	[年賀状1993]	1993年	紙 エッチング	16.5×11.5
77	加藤清美	[年賀状1994]	1994年	紙 エッチング	16.8×11.2
78	加藤清美	[年賀状1995]	1995年	紙 エッチング	16.5×11.2
79	加藤清美	[年賀状1997]	1997年	紙 エッチング	15.9×11.5
80	加藤清美	[年賀状1998]	1998年	紙 エッチング	16×11.3
81	加藤清美	[年賀状2000]	2000年	紙 エッチング	11.8×16.8
82	加藤清美	[年賀状2002]	2002年	紙 エッチング	15.8×11
83	加藤清美	[年賀状2001]	2001年	紙 エッチング	11.5×17
84	加藤清美	[立つ女]	不詳	紙 エッチング	59×44.5
85	池田満寿夫	黄金の真珠	1983年	メゾチント	62.0×45.5
86	池田満寿夫	[皿]	不詳	ブロンズ、金箔	2.2×9.0×8.3
87	池田満寿夫	[皿]	不詳	ブロンズ、金箔	3.2×7.5×5.5
88	池田満寿夫	[皿]	不詳	ブロンズ、金箔	3.2×7.5×5.6
89	池田満寿夫	[皿]	不詳	ブロンズ、金箔	2.2×9.0×8.3
90	池田満寿夫	[花瓶]	不詳	ブロンズ、金箔	11.0×8.8×8.0
91	池田満寿夫	[壺]	不詳	ブロンズ、金箔	10.0×8.0×8.0
92	宇野亜喜良	[女たち]	不詳	シルクスクリーン	48×63.6
93	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ“置き去りにされたる十字架のキリストの下に”	1926年	リトグラフ	51.3×41.9
94	Antoni Clavé (アントニー・クラヴェ)	型付板	不詳	リトグラフ	76.2×56.5
95		[イスラム ミニアチュール]	不詳	水彩	30×20.8
96		[仏手]	不詳	木 漆 金箔	8.5×3.2×3.8
97		[金銅仏]	不詳	ブロンズ	10.6×2.9×2.8
98		[土人形・女性]	不詳	土 素焼き	21.9×9.0×3.1
99		[土人形]	不詳	土 素焼き	19.5×8.5×3.0
100		[鶏頭像]	不詳	土 素焼き	20.0×18.0×9.8
101	原誠	[肖像]	不詳	板 油彩	22.6×15.7
102	原誠	[トランク]	不詳	キャンバス 油彩	60.5×72.5
103	原誠	[落下する卵]	不詳	キャンバス 油彩	70.7×56
104	原誠	[顔]	不詳	洋紙 色鉛筆	41×28.5

105	原誠	[落下する卵]	不詳	紙 鉛筆 パステル	9×13.1
106	原誠	[壇]	不詳	キャンバス 油彩	27.5×22.5
107	原誠	[公園風景]	不詳	キャンバス 油彩	32×41
108	原誠	[踊]	不詳	キャンバス 油彩	90.5×72.5
109	原誠	[原始]	不詳	板 油彩	27.1×40.8
110	原誠	[ワイングラス]	不詳	キャンバス 油彩	23×15.7
111	原誠	[壇とグラス]	不詳	キャンバス 油彩	45.5×27.5
112	原誠	[二人の男]	不詳	キャンバス 油彩	53×45.5
113	原誠	[壇とグラス]	不詳	紙 鉛筆 パステル	38×27
114	原誠	[コーヒークップ]	不詳	キャンバス 油彩	31.7×41
115	原誠	[静物]	不詳	キャンバス 油彩	38×45.5
116	原誠	[物思い]	不詳	キャンバス 油彩	33.3×24.4
117	原誠	叶わぬ月	不詳	キャンバス 油彩	52.8×45.5
118	原誠	[立体構成]	不詳	ミクストメディア	32×26.7×4.5
119	原誠	[頭部]	不詳	紙 パステル	35.5×25
120	原誠	[丸椅子上の瓶]	1963年	紙 パステル	49.8×36.5
121	原誠	[裸婦]	不詳	キャンバス 油彩	40.7×31.9
122	原誠	[胸像]	不詳	キャンバス 油彩	60.5×50
123	原誠	[壇]	不詳	キャンバス 油彩	27.5×22.5
124	原誠	[肖像]	不詳	キャンバス 油彩	18.1×14.3
125	原誠	[眼]	不詳	キャンバス 油彩	53×72.8
126	原誠	[眼]	不詳	キャンバス 油彩	65×53
127	原誠	[落下する卵]	不詳	キャンバス 油彩	53×65.2
128	原誠	[顔]	不詳	キャンバス 油彩	45.3×37.8
129	原誠	[人体]	不詳	キャンバス 油彩	50×60.5
130	原誠	[テーブルを囲む人]	不詳	キャンバス 油彩	45.5×37.8
131	原誠	[女の顔]	不詳	キャンバス 油彩	45.5×38
132	原誠	[落下する卵]	不詳	キャンバス 油彩	45.5×53
133	原誠	[立体構成]	不詳	ミクストメディア	25.7×17.5×4.5
134	原誠	[大いなる手]	不詳	紙 鉛筆 パステル	25×35.4
135	原誠	[壇とグラス]	不詳	キャンバス 油彩	45.5×27.3
136	原誠	[壇とグラス]	不詳	キャンバス 油彩	45.3×33.2
137	原誠	[飛行機]	不詳	キャンバス 油彩	60.5×45.3
138	原誠	[トランク]	不詳	キャンバス 油彩	45.5×37.8
139	原誠	[丸テーブルを囲む二人の男]	不詳	キャンバス 油彩	40.8×27.3
140	原誠	[落下する卵]	不詳	板 油彩	24×33.1
141	原誠	[胸像]	不詳	紙 水彩	24.9×18.3
142	原誠	[大いなる手]	不詳	紙 パステル	36.5×51.5
143	原誠	[カクテルグラス]	不詳	キャンバス 油彩	33.5×24.5
144	原誠	[壇とワイングラス]	不詳	板 油彩	22.8×15.9
145	原誠	[コーヒークップ]	不詳	板 油彩	33.5×24.2
146	原誠	[卵]	不詳	板 油彩	22.7×15.8
147	原誠	[落下する卵]	不詳	紙 鉛筆 パステル	25.2×22.5
148	原誠	[二つの人体]	不詳	キャンバス 油彩	45.3×38
149	原誠	[風景]	不詳	キャンバス 油彩	31.8×41
150	原誠	[眼]	不詳	板 油彩	15.7×22.7
151	原誠	[鏡の前の人物]	不詳	キャンバス 油彩	27.5×22.5
152	原誠	囀	1953年	紙 パステル	21.2×13.5
153	原誠	[胸像]	不詳	キャンバス 油彩	72.8×50
154	原誠	駅舎遠望	不詳	板 油彩	27.2×22
155	原誠	[二つの人体]	不詳	板 油彩	27.3×22
156	原誠	[頭部]	不詳	板 油彩	27.4×21.8
157	原誠	[女性]	不詳	紙 鉛筆	39.5×30.6
158	原誠	[後頭部]	1965年	キャンバス 油彩	27.5×22.5
159	原誠	[コンポジション]	不詳	紙 パステル	36.2×25.6
160	原誠	[ワイングラス]	1972年	キャンバス 油彩	18×13.8

161	原誠	[眼]	不詳	キャンバス 油彩	14.3×18.4
162	原誠	逃げた鳥	1955年	紙 パステル	17×14.2
163	原誠	[落下する卵]	不詳	紙 パステル	21×23.1
164	原誠	[静物]	不詳	キャンバス 油彩	53×45.3
165	原誠	[コンポジション]	1954年	紙 パステル	13.3×21.3
166	原誠	[裸婦]	不詳	紙 鉛筆	29.2×24.5
167	原誠	[コンポジション]	不詳	紙 鉛筆	10.2×11.4
168	原誠	[顔]	不詳	紙 墨	12.7×9.1
169	原誠	[顔]	不詳	紙 鉛筆	13.2×11.2
170	原誠	[戦闘機]	不詳	紙 ペン	21×47.8
171	原誠	[コラージュ]	不詳	紙、コラージュ	32.1×48.2
172	原誠	外国人家族	不詳	紙 鉛筆	35.6×48.5
173	原誠	[顔]	不詳	板 油彩	22.7×15.5
174	原誠	[グラス]	不詳	板 油彩	22.5×16
175	原誠	[コーヒーカップ]	不詳	板 油彩	18×14
176	原誠	[ポット]	不詳	キャンバス 油彩	22.5×16
177	原誠	[物思い]	不詳	板 油彩	22.5×15.7
178	原誠	[踊]	不詳	板 油彩	15.7×22.7
179	原誠	[壇]	不詳	板 油彩	27.4×22.2
180	原誠	[眼]	不詳	板 油彩	27.1×22
181	原誠	[顔]	不詳	板 油彩	15.7×22.7
182	原誠	[静物]	不詳	キャンバス 油彩	22×27.5
183	原誠	[挿絵原画_卵]	不詳	紙、ペン	18.5×25.6
184	原誠	[挿絵原画_焼売]	不詳	紙、ペン	18.5×25.6
185	原誠	[挿絵原画_鶏]	不詳	紙、ペン	18.5×25.6
186	原誠	[挿絵原画_卵]	不詳	紙、ペン	18.5×25.6
187	原誠	[挿絵原画_植物]	不詳	紙、ペン	18.5×25.6
188	原誠	[挿絵原画_鉱物]	不詳	紙、ペン	18.5×25.6
189	原誠	[挿絵原画_ゴルフボール]	不詳	紙 パステル	24.8×21
190	原誠	[挿絵原画_芝目を読む男]	不詳	紙、鉛筆	30.6×21.5
191	原誠	[公園]	不詳	紙 パステル	24×25.1
192	原誠	[下絵_レスリング]	不詳	紙、鉛筆	31.8×21.8
193	原誠	[下絵_放屁する犬]	不詳	紙、鉛筆	29.5×23.5
194	原誠	[挿絵原画_ロックシンガー]	不詳	紙 パステル	29.6×24.4
195	原誠	[挿絵原画_レリーフ]	不詳	紙、ペン	27.1×39.2
196	原誠	[蝶と顔]	不詳	紙 パステル	21.3×22.3
197	原誠	[蝶と人]	不詳	紙 パステル	21.3×22.3
198	原誠	[風景デッサン]	不詳	紙、鉛筆	25.3×35.3
199	原誠	[下絵_手とグラス]	不詳	紙、鉛筆	38×27
200	原誠	[原画_月夜]	不詳	紙 コンテ	21.5×31
201	原誠	[原画_ねずみと人の行進]	不詳	紙 コンテ	23.5×30.6
202	原誠	絵本『UFOの里 飯野ものがたり』(創樹社、1996年) 原画18点	1996年頃	紙 コンテ	各23.8×25.7
203	原誠	[原画_彼岸花とお膳]	不詳	紙 コンテ	23.8×25.7
204	原誠	[原画_彼岸花と坊主]	不詳	紙 コンテ	23.8×25.7
205	原誠	絵本『時間のけんきゅう』原画10点	1981年	紙、ペン	30.5×30 ほか
206	原誠	紙芝居『ポチくんの空襲体験』12点	不詳	紙、ペン・水彩	39.3×54.5 ほか
207	原誠	[挿絵原画_美空ひばり]	不詳	紙、コンテ	22.8×26.6
208	原誠	[挿絵原画_歌手]	不詳	紙、コンテ	35.5×23.5
209	原誠	[裸婦デッサン]	不詳	紙、鉛筆	35.5×25.5
210	原誠	[壇と手]	不詳	紙、鉛筆・色鉛筆	11.5×19.8
211	原誠	[挿絵原画_男女]	不詳	紙、鉛筆	34.4×23.7
212	原誠	紙芝居『岩代の國、昔話 たんがら山』8点	不詳	紙、ペン・水彩、パステル	38.2×54
213	原誠	[花]	不詳	紙、水彩	43.9×31.7
214	原誠	[抽象デッサン]	不詳	紙、鉛筆	32.9×42.3
215	原誠	[顔]	不詳	紙、鉛筆・色鉛筆	9.4×7.3

216	原誠	「煙草を吸う人」	不詳	紙、鉛筆	28.7×20.1
217	原誠	「構成」	不詳	紙、鉛筆	34.9×48.9
218	原誠	「コーヒーを飲む人」	不詳	紙、パステル	25.6×18.6
219	原誠	「牛乳瓶」	不詳	紙、パステル	31.4×16.8
220	原誠	「ジャーポット」	不詳	紙、パステル	32.8×21.8
221	原誠	「瓶を取る手」	2004年	紙、パステル	26.6×38.2
222	原誠	「作品不明 原画」21点	不詳	紙、パステル	25.7×30.9 ほか
223	原誠	挿絵原画_ゴルフ」	不詳	紙、パステル	29.5×21
224	原誠	「(叶わぬ月)下絵カ」	不詳	紙、水彩	30.8×40.5
225	原誠	「『岩代の國、昔話 たんがら山』下絵」	不詳	紙、鉛筆	24.5×26.1
226	原誠	「作品不明 下絵」	不詳	紙、パステル	26.1×34.5
227	原誠	スケッチブック	不詳	紙、パステル	41.7×32.5
228	原誠	スケッチブック	不詳	紙、パステル	41×32.5
229	原誠	COLLAGE PAR M.HARA	不詳	紙、パステル	56.5×40.8
230	古賀忠雄	鮭	1952年	ブロンズ	111.4×24.5×22.0
231	古賀忠雄	聖者	1939年	石膏・着色	57.2×18.5×18.0
232	古賀忠雄	練馬の男	1948年	ブロンズ	39.7×19.0×23.5
233	古賀忠雄	鳥	不詳	石膏・着色	10.0×6.0×8.0
234	古賀忠雄	鳥	不詳	石膏・着色	13.5×13.0×11.0
235	古賀忠雄	鳥	不詳	石膏・着色	17.0×17.0×12.0
236	古賀忠雄	鳩	不詳	セメント	8.6×24.0×9.0
237	古賀忠雄	ウサギ	不詳	石膏・着色	9.4×12.5×10.5
238	古賀忠雄	猫	1944年	石膏・着色	9.6×13.5×10.5
239	古賀忠雄	猫	不詳	石膏・着色	3.8×7.0×3.5
240	古賀忠雄	「女性像」	不詳	紙塑	9.0×14.5
241	古賀忠雄	「馬頭人像」	不詳	紙・インク・水彩	39.5×31.8
242	渡辺千尋	奇妙な来客	1978年	ビュラン	28.0×18.0
243	渡辺千尋	卵夢	1978年	ビュラン	28.0×20.7
244	渡辺千尋	笑う男	1978年	ビュラン	15.5×12.0
245	渡辺千尋	懺悔の夢景	1978年	ビュラン	24.0×33.5
246	渡辺千尋	午後の光景	1979年	ビュラン	24.8×30.0
247	渡辺千尋	峡谷の肖像	1979年	ビュラン	28.0×15.5
248	渡辺千尋	二人ぼっち	1979年	ビュラン	10.0×6.0
249	渡辺千尋	空の城	1980年	エッチング・ビュラン	10.5×7.0
250	渡辺千尋	北斎が聞こえる	1983年	ビュラン	12.5×9.0
251	渡辺千尋	闇の花	1983年	エッチング・ビュラン	10.0×8.0
252	渡辺千尋	石	1985年	ビュラン	11.6×7.0
253	渡辺千尋	線の繁み	1993年	ビュラン	22.5×30.0
254	渡辺千尋	月光	1996年	ビュラン	29.7×20.8
255	渡辺千尋	幻花	2001年	カラーメゾチント(2版2色)	22.3×15.2
256	渡辺千尋	枇杷	2001年	カラーメゾチント(2版3色)	11.8×17.8
257	渡辺千尋	柘榴 (空)	2002年	カラーメゾチント(2版3色)	18.0×12.0
258	渡辺千尋	太古への夢	2004年	メゾチント	45.0×32.0
259	渡辺千尋	らっきょう	2004年	メゾチント	7.5×11.3
260	滝瀬源一	「UFO殺人事件」光文社 挿絵		スクラッチボード	
261	滝瀬源一	「6年の科学」掲載イラスト		スクラッチボード	
262	滝瀬源一	「アサヒ芸能」掲載イラスト		スクラッチボード	
263	滝瀬源一	「月刊小説」掲載イラスト		スクラッチボード	
264	滝瀬源一	光文社出版雑誌掲載イラスト		スクラッチボード	
265	滝瀬源一	「自白」挿し絵		スクラッチボード	
266	滝瀬源一	「週刊言論」掲載イラスト		スクラッチボード	
267	滝瀬源一	「週刊小説」掲載イラスト		スクラッチボード	
268	滝瀬源一	「週刊大衆」掲載イラスト		スクラッチボード	
269	滝瀬源一	「主婦と生活」掲載イラスト		スクラッチボード	
270	滝瀬源一	「小説クラブ」掲載イラスト		スクラッチボード	
271	滝瀬源一	「小説サンデー毎日」		スクラッチボード	
272	滝瀬源一	「小説新潮」掲載イラスト		スクラッチボード	

273	滝瀬源一	「小説推理」掲載イラスト	スクラッチボード	
274	滝瀬源一	「小説宝石」掲載イラスト	スクラッチボード	
275	滝瀬源一	祥伝社の雑誌掲載イラスト	スクラッチボード	
276	滝瀬源一	「勝利」掲載イラスト	スクラッチボード	
277	滝瀬源一	「女性自身」掲載イラスト	スクラッチボード	
278	滝瀬源一	司書房の雑誌掲載イラスト	スクラッチボード	
279	滝瀬源一	「ベルス」現代夜討曾我」光文社 挿絵	スクラッチボード	
280	滝瀬源一	「別冊小説クラブ」掲載イラスト	スクラッチボード	
281	滝瀬源一	「別冊小説宝石」掲載イラスト	スクラッチボード	
282	滝瀬源一	「ポケットパンチ」掲載イラスト	スクラッチボード	
283	滝瀬源一	「漫画サンデー」掲載イラスト	スクラッチボード	
284	滝瀬源一	「ミスターダンディ」掲載イラスト	スクラッチボード	
285	滝瀬源一	「問題小説」掲載イラスト	スクラッチボード	
286	滝瀬源一	「小説ジュニア」掲載イラスト	スクラッチボード	
287	滝瀬源一	「オール読物」掲載イラスト	スクラッチボード	
288	滝瀬源一	桃園書房の雑誌掲載イラスト	スクラッチボード	
289	滝瀬源一	「亀裂」挿絵	スクラッチボード	
290	滝瀬源一	「近代外交秘話」秀文社 挿絵	ペン画	
291	滝瀬源一	掲載誌不明イラスト	スクラッチボード	
292	滝瀬源一	(インド仏)	スクラッチボード	18.8×13
293	滝瀬源一	(エロス)	スクラッチボード	23.2×5.8、23.2×31.8、23.2×5.8
294	滝瀬源一	(エロス)	スクラッチボード	23×5.8、23×31.8、23×5.8
295	滝瀬源一	(エロス)	スクラッチボード	23.2×5.8、23.2×31.8、23.2×5.8
296	滝瀬源一	(エロス)	スクラッチボード	23×6、23×32、23×6
297	滝瀬源一	(仏)	スクラッチボード	42.2×32.5
298	滝瀬源一	(仏)	スクラッチボード	14×10.8
299	滝瀬源一	(裸婦)	スクラッチボード	26.8×18.5
300	滝瀬源一	「赤い絨毯」表紙画	スクラッチボード	29.8×26
301	滝瀬源一	囲炉裏	スクラッチボード	25.8×22
302	滝瀬源一	女	版画	43.5×35
303	滝瀬源一	女	スクラッチボード	20.8×26.7
304	滝瀬源一	女と石	スクラッチボード	60.8×48.5
305	滝瀬源一	金剛力士像	スクラッチボード	37.4×30.4
306	滝瀬源一	千葉	スクラッチボード	66.3×47
307	滝瀬源一	ひび	スクラッチボード	24×29.8
308	滝瀬源一	老母と風景	スクラッチボード	23.3×18.4、8×23.8
309	駒井哲郎、中林忠良、野見山暁治ほか	東京藝術大学版画教室制作カレンダー一括	リトグラフ	各71.8×52.9

(2-2)寄贈資料

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	(松岡映丘)	短刀	不詳		
2		原誠旧蔵資料一括(一箱)			
3	原誠	手製画集4冊			
4		高良留美子宛書簡[1999年12月26日消印]			
5		高良留美子氏宛原誠書簡[1998年12月30日消印]			
6		高良留美子氏宛原誠年賀状[2000年]			
7		高良留美子氏宛原誠葉書[2004年11月26日消印]			
8		高良留美子氏宛原誠書簡[2006年5月9日消印]			
9		高良留美子氏宛原誠葉書[2007年7月12日消印]			
10		高良留美子氏宛原誠葉書[2009年3月9日消印]			
11		高良留美子氏宛原誠書簡[2009年7月1日消印]			
12		高良留美子氏宛原誠書簡[2009年9月7日消印]			
13		高良留美子氏宛原誠年賀状[2010年3月15日消印]			
14		高良留美子氏宛宮崎勢津子書簡[2012年12月3日消印]			
15		「希望」関係資料 一括			

(3-1)寄託作品

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	小野具定	魚			73.0×117.0
2	小野具定	漁村			63.0×99.0

(3-2)寄託資料

なし

3 美術の森緑地について

(1) 美術の森緑地リニューアル後の動向

現況

3月30日に「幻想美術動物園」をコンセプトにリニューアルオープン、天然芝と20種類32体の動物を中心とした彫刻群が人気を呼び、開園以来10月20日現在、延べ43万人の方々に利用頂いた。年間ベースでは80万人の利用が見込まれ、「練馬の新しい名所」になりつつある。マスコミでも注目され、TV番組での紹介、共同通信発で多くの地方紙にも取り上げられた。

彫刻は、触ってもいい、坐ってもいい「遊べるアート」として、道は「歩けるアート」として制作・設置したが、狙い通り、連日、親子連れを中心に「老若男女」で賑っている。

緑地内2箇所に設置したカウンターの累計

来客数推移

平成27年4月	76,000人
5月	67,000人
6月	52,000人
7月	47,700人
8月	60,300人
9月	75,000人
10月20日まで	56,000人
累計	434,000人

グッズの開発・販売

平成27年8月から、動物デザインのグッズを販売中。

(ポストカード、クリアファイル、トートバッグ、マグカップ)

(2) 美術の森緑地広報活動と反響

(中間報告)

<p><テレビ></p> <p>BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」8月21日</p> <p>テレビ東京「出沒！アド街ック天国」11月7日 21:00～(予定)</p>	
<p><新聞></p> <p>朝日新聞 2月25日 工事中の模様を掲載</p> <p>共同通信 5月21日(web版)、下野新聞 5月21日(web版)、 山形新聞 5月21日(web版)、山陽新聞 5月21日(web版)、 産経新聞 5月21日(web版)、信濃毎日新聞 5月21日(web版)、 神戸新聞 5月21日(web版)、中日新聞 5月21日(web版)、 北日本新聞 5月21日(web版)、信濃毎日新聞 5月29日、 北海道新聞 6月9日、朝日新聞夕刊 6月17日、日本農業新聞 6月30日</p>	
<p><美術雑誌></p> <p>美連協ニュース 5月号</p> <p>新美術新聞 4月21日</p>	<p><雑誌></p> <p>オズマガジン 8月号</p>
<p><地域情報誌></p> <p>光が丘 ima'am 6・7月号</p> <p>月刊 Kacce 5月号、6月号</p> <p>Engagement vol.2</p>	<p>ネリクリ 4</p> <p>ヒカルとヒカリ 2015 Spring&Summer</p>
<p><WEB></p> <p>JR おでかけネット</p> <p>itot あいとっと</p> <p>日本の歩き方</p> <p>練馬経済新聞</p>	<p>ミュージアムカフェ</p> <p>青い日記帳</p> <p>はろるど</p> <p>クラブウィルビー 他</p>